

2025年8月15日 発行

第10号

工務部会 こうむ NEWS

JR東労組（東日本旅客鉄道労働組合）

工務部会

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1

代々木総合事務所5階

NTT 03-5315-0941 JR 058-4112

発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

第5回 保線関係職場意見交換会を 開催しました！！

7月20日、本部会議室を本会場としてWEBで繋ぎ、安全と直轄作業の実態、施策の検証について、議論してきました。

【安全議論】

7月2日、磐越西線東長原駅構内で線路検修中に発生した保守作業誤りについて、原因究明委員会を行いました

- ①建築限界内に入るために必要な保安体制が取られていない
- ②保安打合せ内容と現場作業が違う
- ③作業員の安全意識が作業を早く終わらせたいとなっていないか

決められたルールが守れないのはなぜか、打ち合わせで本音の議論ができていないのか、自分だったらどうするのかなど様々な角度から議論することができました。



【直轄作業の実態】

「直轄作業における安全作業」（除草作業）の実態把握について

- ・除草台帳で管理しているが追えていない
- ・苦情が優先されて、安全に関する待避箇所などは後回しか直轄で行うしかない
- ・駅構内など、統括センターと一緒にする場合、保線が見張りを行うが、安全に対する認識が一致しない
- ・熱中症対策を行っているが、行いきれない

今後、保線が本来やるべき業務が阻害されてしまう業務を洗い出し本来業務がきちんと行える体制するために議論を継続していきます

【保線施策の検証】

「保線部門に将来ビジョンとその実現に向けたさらなる組織の再編」についての検証について

（検証視点）

- ・教育（特情教育含む）の実態
- ・主な勤務地をこえて業務した実態
- ・派出の見直しとBASE化による足ロスと保守作業の実態
- ・一部検査業務移管したことでの技術力の実態
- ・プロジェクト実態

職場の実態と施策を照らし合わせて、よりよい職場にするために施策の検証をこれからも続けていきます

何でも言い合える風通しのよい職場
をつくりだそう！！
そして、JR東労組に結集しよう！！